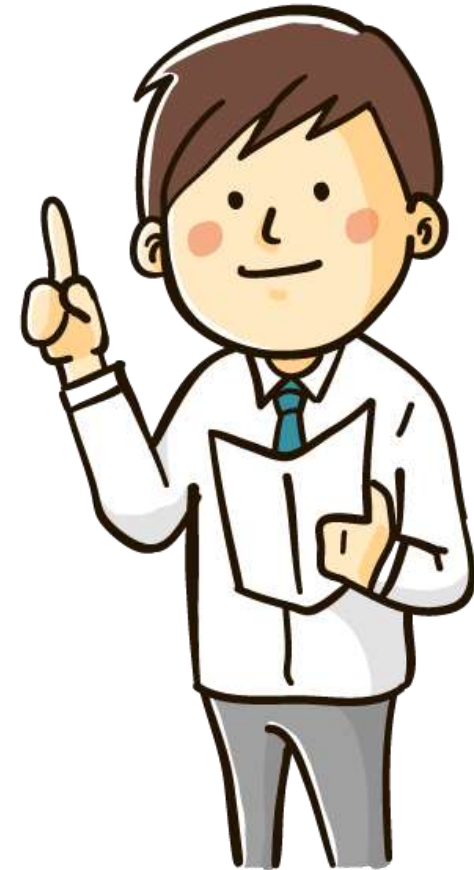


『教員の勤務状況の課題について』

- 令和4年度第5回 校長「語らいサロン」
- 令和5年2月4日（土）9:00～9:50am



墨田区立第三吾孺小学校

ニッポン放送「すくすく育て 子どもの未来健康プロジェクト」 (1月29日放送)
教育評論家の尾木直樹が教員不足について語った

「去年 (2022年) 9月の段階で、**東京都の小学校の教員は約130人不足**しています。4月の段階では約50人だったのですが、夏休みが明けたら、皆さん続々と現場を離れてしまいました。東京都ではハローワークに募集を出しています。」

「私の個人的な意見ですが、教育実習に行って「教員にならない」と決めてしまうのですよ。社会的にはブラック職場などと言われています。過重な労働状況であり、**過労死ラインの80時間を超えている教員は小学校で3割、中学校で6割いる**と言われています。**精神が病んでしまい、学校を1ヵ月以上休んでいる先生方は約1万人**います。もはや「深刻」を超えた状況です。」

「学校の先生は残業のカウントがしにくいのです。**1971年ごろ、1週間で2時間の残業、ひと月に8時間の残業代を「調整手当」として支給するようになった**。しかし、現在は時間外労働が約10倍に膨れ上がっています。政府も残業代について検討を始めようとしています。早く議論して欲しいです。」

教員環境の国際比較：OECD 国際教員指導環境調査（TALIS）2018 報告書

表 2.3.2 [1/2] 教員の仕事時間（小学校）

小学校教員の回答に基づく

国名	直近の「通常の一週間」において、以下の仕事に従事したと教員が報告した時間数の平均 (1時間 = 60分換算) ^{1,2}											
	仕事時間の合計		指導（授業）		学校内外で個人で行う授業の計画や準備		学校内での同僚との共同作業や話し合い		生徒の課題の採点や添削		生徒に対する教育相談（生徒の監督指導、インターネットによるカウンセリング、進路指導、非行防止指導）	
	平均	S.E.	平均	S.E.	平均	S.E.	平均	S.E.	平均	S.E.	平均	S.E.
フランドル（ベルギー）	41.7	(0.3)	23.1	(0.1)	5.7	(0.1)	2.2	(0.0)	4.6	(0.1)	1.2	(0.0)
プエノスアイレス（アルゼンチン）	36.9	(0.7)	22.0	(0.3)	6.1	(0.2)	3.0	(0.2)	5.6	(0.2)	2.9	(0.3)
デンマーク	38.5	(0.2)	20.8	(0.1)	6.9	(0.1)	3.2	(0.1)	1.7	(0.1)	1.1	(0.1)
イングランド（イギリス）	48.3	(0.4)	22.4	(0.2)	7.3	(0.2)	3.6	(0.1)	5.5	(0.1)	2.1	(0.1)
フランス	40.8	(0.4)	23.5	(0.2)	7.4	(0.2)	2.2	(0.1)	4.0	(0.1)	0.6	(0.0)
日本	54.4	(0.2)	23.0	(0.2)	8.6	(0.1)	4.1	(0.1)	4.9	(0.1)	1.3	(0.0)
韓国	32.5	(0.3)	20.4	(0.1)	6.0	(0.1)	3.1	(0.1)	2.6	(0.1)	2.9	(0.1)
スペイン	35.3	(0.3)	22.9	(0.2)	5.4	(0.1)	2.7	(0.1)	3.7	(0.1)	1.9	(0.1)
スウェーデン	42.7	(0.3)	19.8	(0.2)	7.2	(0.1)	3.6	(0.1)	2.8	(0.1)	1.7	(0.1)
台湾	38.6	(0.3)	16.6	(0.2)	5.8	(0.1)	3.0	(0.1)	6.2	(0.1)	3.0	(0.1)
トルコ	31.7	(0.4)	26.3	(0.2)	3.4	(0.1)	1.8	(0.1)	2.7	(0.1)	1.9	(0.1)
アラブ首長国連邦	38.9	(0.2)	24.4	(0.1)	6.8	(0.1)	3.7	(0.1)	5.2	(0.1)	3.8	(0.1)
ベトナム	43.7	(0.1)	22.1	(0.1)	8.6	(0.1)	3.2	(0.0)	4.0	(0.1)	2.9	(0.1)
オーストラリア	43.7	(0.4)	23.6	(0.2)	7.4	(0.1)	3.4	(0.1)	3.3	(0.1)	2.3	(0.1)
オランダ	36.0	(0.3)	19.4	(0.2)	4.0	(0.1)	2.8	(0.1)	2.8	(0.1)	1.1	(0.1)

三吾小の教職員の勤務条件

勤務時間 午前8時15分～午後4時45分

うち、**45分間の休憩**を含む。

午後1時5分～20分（15分間）、3時45分～4時15分（30分間）

（この時間は、勤務地を離れることができる）→ **実質、0分**

「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」（給特法）

○時間外・休日手当は支給しないこと

○月額給与の4%にあたる額を上乗せして支給すること

初任給197,300円 この4%は**7,892円（月）**

1971年に国公立学校の教員に対し、俸給月額の4%相当の「教職調整額」を支給することとした。
これは1972年度（昭和47年度）から適用された。

令和4年度 第三吾孺小学校・教職員勤務外時間

教諭

男女	4月	9月	10月	11月	繁忙期平均
f	31.5	29.53	24.36	23.22	27.1525
f	55.54	73.23	49.21	38.16	54.035
m	41.38	29.48	20.43	18.5	27.4475
m	28.55	20.58	34.51	21.22	26.215
m	26.16	18.13	20.49	31.15	23.9825
f	18.5	17.31	27.17	38.41	25.3475
f	85.56	90.45	67.22	62.15	76.345
m	16.5	16.09	17.29	20.4	17.57
f	67.42	51.36	67.06	55.27	60.2775
f	60.21	66.34	50.52	48.59	56.415
f	72.53	84.09	62.07	59.15	69.46
m	67.52	75.53	56.03	54.19	63.3175
f	71.28	62.31	57.39	52.03	60.7525
f	36.45	27.27	26.02	29.37	29.7775
行事	年度初め	通知表	体育学習	音楽学習	

主任教諭

男女	4月	9月	10月	11月	繁忙期平均
m	23.06	25.58	29.44	32.23	27.5775
f	56.02	46	55.54	40.06	49.405
f	52.17	45.2	57.34	57.4	53.0275
f	48.27	60.37	58.03	46.53	53.3
m	27.58	32.52	25.55	26.01	27.915
m	37.1	35.11	29.46	43.49	36.29
f	46.5	59.35	51.18	48.41	51.36
f	52.02	44.55	43.57	39.57	44.9275
行事	年度初め	通知表	体育学習	音楽学習	

1日4時間の時間外勤務×20日 = 80時間 (過労死ライン)

学校推奨時間：月45時間以内 (=7時前には帰る)

教員の勤務時間：午前8時15分～午後4時45分 うち、休憩時間45分 (実質0分)

始業前～8:15 + 終業後～21:00 が勤務外時間 (残業)

*この表には、土日休日の勤務、自宅での仕事は含まれない

2月2日の勤務状況

	初任者 (女性)	2年目 (男性)	2年目 (女性)	主任教諭 (男性)
7:00			7:10 出勤 テストの丸付け、週の指導計画作成	
7:45	7:45出勤 事務印明、シヨコラ世話、 教室にメッセージ	7:40出勤 メール、COCOO確認、丸付け		7:30出勤 副校長と打ち合わせ、卒業生台帳作成、学年会準備
8:00	1~6時間目 授業 給食指導 休憩時間 0分	1~6時間目 授業 給食指導 休憩時間 0分	1~6時間目 授業 給食指導 休憩時間 0分	1~6時間目 授業 うち2時間分校務事務 給食指導 休憩時間 0分
9:00				
10:00				
15:00				
16:00	補習	補習	補習	学年会
17:00	学年会 (教材研究会含む) 初任者研修報告書作成 目標終了時間19:00	学年会 (教材研究会含む)	学年会	校務事務 目標終了時間19:00
18:00			教材研究 (明日の授業) 2年次研修の報告書作成 目標終了時間20:00	
19:00		2年次研修報告書作成 部教委報告書作成 目標終了時間20:00		
19:15	19:15退勤			19:15退勤
20:00		20:35退勤	20:35退勤	
21:00				
在勤時間	11時間30分	12時間55分	13時間25分	11時間45分
時間外勤務	3時間45分	5時間10分	5時間40分	4時間
×21日	78時間45分	108時間30分	119時間	84時間



2月2日 (木) 19時00分の職員室

学校・教師が担う業務の明確化・適正化

平成29年10月20日「学校における働き方改革特別部会」資料より

1998年2月に英国の教育雇用省が通知で示した「教員がしなくてよい業務」



植田みどり「イギリス」（国立教育政策研究所『諸外国の教員数の算定方式に関する調査報告書（研究代表者：大杉昭英 初等中等教育研究部）』2015年）で示された項目を便宜的に分類。

もともとは副校長の業務改善から始まった…



副校長補佐・Kさん
(写真：広報誌「さんあづ170号より）

School Support Staff Sさん



2月3日・午後

先生たちから依頼された、児童の教材を作成しているところ